This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.

2-18

II. 34

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO.
2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO. 2-18

[illegible]

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO.
2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO.
2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.

2-18

FOLDER NO.
2-18

도, 이기는 것이 목적이 아니라 「디스커션」을 통해서 서로 배우는 것이 목적이다.

「디스커션」은 보통 한 주제에 대해 두 사람이 찬성과 반대로 나뉘어 각각 십분 정도 자기 의견을 말하고 그 후 이십분 정도 서로 질문하고 대답하는 형식으로 진행된다. 「디스커션」은 학생들의 영어 실력을 향상시키는 데 큰 도움이 된다. 왜냐하면 학생들은 「디스커션」을 준비하기 위해 주제에 관한 자료를 찾아 읽고 또 자기 의견을 영어로 표현하는 연습을 하기 때문이다. 또 「디스커션」 중에 상대방의 의견을 듣고 이해하는 능력도 기를 수 있다.

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

一九五三年八月十六日

日本語学校について

三又草

戦争前沿岸の日本人集団地には、語学校が大小四十九校あり、教師男女教師九十五名、生徒の総数が四千三十九人（一九四〇年調）となっており、それが為めに費やした経営費一ヶ年に五万七千六百六十一弗。これは会話学校の会計簿の会計であるが、其の他に語学校中心に行はれた、種々の行事、それに右の

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

四十九校を統一する為めに出来た所の
ビーシー教育令と共に国費、共立役員靖氏が
語学校関係の集会の為めに挿まれた時分も
延べにしたら驚くべき数字に成つたに違ひ
い。戦後改善の条人々敬仕政策に依つて一應旧
本語学校は自然消滅して居たの様、各大集地
には、お寺と語学校が一緒に成つて居た所も
あり、戦後は、戦禁と同時に
地上の大火の為めに焼け失せて何も残らず
くおつたやうに見えたのが、日系人の生活
がやゝ安定し、春のやうな温い自由の慈雨が

10 X 20

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS
FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

焼跡の黒土に埋もれると、地下に生き残って
居た昔の古根が、むくむくと芽を出し伸び始める、
野生状態でもそうであるように日本語学校が再び
その昔日の姿を表わし始めたやうである、一寸理学方法
も教師の態度も一切一変せる事なれど我前のそれと同じやうに見える
筆者は通学機会が、そんな機会で欠ぐべ
からざる必要あり、前述のやうな大
きな犠牲を払ってまでも、やらなければならぬ
かいもの(価値)があるかに大きな疑問を持つのである。
それに我前の語学校の内容が帝国
我的色彩が濃かったこと、普通制がとれて

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

居た矢先のカナダ亜内各地に、十千六数箇
の組織として陰にドイツ人がいて、在外官憲を
通じて援助と統一とをたたと伝へられるドイ
ツ語学校と同じやうな存在と看られ、恐れられ
てゐた事は事実である。戦時中に二世が移動
命令に反抗し、日のたの旗をカーの先頭に立
て移民館に押寄せた事件その他暴動炎上した時
本精神を各所に発揮したのも此のやうに恩
ひ出さゝれる、(保し)そんな行動に対し語学校に直接
責任があるとは決して言へないが、ドイツ語

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

学校でやって居たと信じられて居たナチスの
エーケルト宣教と同じ意味を我的お由のがは
英語学校内にも存在してみた事かと疑はれ
て居た事かは多い。こんな思想的方
面は今日の語学校には全然ないと思はれるが
「英語の判らぬ父母と別れて、親子の情を
細やかな日本語で通信出来るやうに」毎年四
、五万冊を費し、「全国学校の放課後・子供に
は二宮尊徳と知りつゝ日本語学校へ通学せ
た其効果が、とれだけ現在残って居る判、日常

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

名作に表れた表現を辞書に当てはめて考えてみたいのである。今は成長し結婚した甥二世が果して英幼時父母が受けた情緒生活をおびやかす期待などの巻十二、三まで習得させたほか読の義務が現在活用されて居るか、不幸にも筆者自身の体験では、いろは四十八文字が、からうじて残っておるに過ぎない、それもママに書く一通の手紙をも殆ど他人の手を借りるに至る。

二世の為めには長時間を要し、余程苦痛を感じ勉強家でも容易に出来ない。

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

あれだけの機性を払ひ、これだけの効果しか生いものとすれば、家庭で父母の教えや学校の教育やそれを管理する政治の問題にまで起因するから、勿論大学生或は高校生の生活を乱し、課外の文

10 X 20

FOLDER NO. 2-18

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

紀文通の為めには日本語修得を希望する者の為めには、出来る限りの援助と設備をしてやらねばおらぬは勿論である。

10 X 20

FOLDER NO. 2-18